

第1回 東海女子研修会 8/10、11

<西野1級 I N Sからの講義>

会場: 三重県 鈴鹿スポーツガーデン
参加者: 審判員9名 指導者: 5名

【研修内容】

今回、ミニ国のテーマであった、ポジショニングと動き・マネジメントを意識した研修会を実施。“なぜそこに行くのか”“メリット・デメリットは?”という点について、西野1級 I N Sより講義を頂き、審判員同士で意見交換をする事で気づきを多くし、ポジショニング・動きに大切なことを整理をすることができる研修を行いました。

【参加審判員からの感想】

- 主審のポジショニングについて、様々な意見交換ができメリット・デメリットについて考えを共有できた事は良かったと感じた。
- 動き出しを意識する事で、カウンターへの対応がスムーズになる事、またプレーに遅れた時などは、走るコースについても注意が必要と感じた。
- 争点に対し良い角度を取る事で判定が安定しやすいという事を映像からも実感できた。
- 素早い攻撃時はファウルの判定のみでは無く、その先の状況も把握する必要がある事を研修会から学んだ。
- 1級審判員のレフェリングを観て、マネジメントの大切さを感じた。

【総括】

普段、何気なく感じている部分について改めて考えられる良い機会になったと感じた。特にポジショニングについては、“然るべき時に然るべき位置にいる”という事の大切さ、またその位置に行くためには、“プレーの予測”“動き出し”が必要になるという事を審判員各々が気づく事ができたと感じる。次回は10/12・13に研修会実施し、今回の研修内容をふまえ指導を行い審判員のレベルアップに繋げていく。



<試合フィードバック>

